

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【医療安全管理室】

指標名

転倒・転落発生率

目標：ゴール

転倒・転落発生率は、病院として転倒・転落予防の取り組みを組織的・効果的に行っているかどうかの指標になります。江東豊洲病院では、他施設平均値より低い値を目指します。

目標：ゴール達成による効果

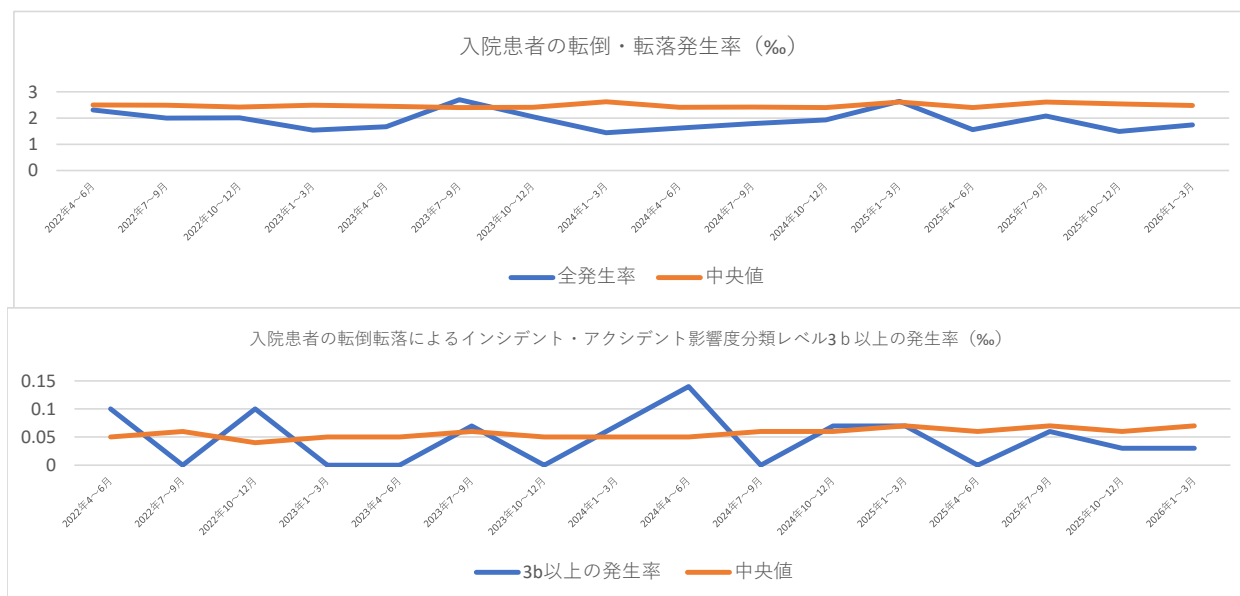
転倒・転落発生リスクを低減する取り組みを行い、転倒・転落により傷害予防につなげる

目標：ゴールに対する成果の状況

入院中の患者の転倒やベッドからの転落の原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのものの、治療・手術などによる身体的なものなど様々なものがあります。

転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に傷害が発生した障害発生率（事象レベル3b以上）と、患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標とすることに意味があります。

傷害に至らなかった事例を含め、分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなり、事例分析から導かれた予防策を実施することで、転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。



※1 算式：（入院患者の転倒転落件数/延入院患者数）×1000（パーミル）

※2 他施設平均は厚労省補助事業「医療の質可視化プロジェクト」参考値

目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☒ A+ : 目標を多少上回って達成
- ☐ A : 目標を達成
- ☐ B+ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

- ・入院時に全患者について、転倒・転落アセスメントを実施し、危険度レベルを判定しています。
- 危険度レベルに応じた対応策を計画し、実施することで転倒転落の低減につなげています。
- ・今後も事例の振り返りを行い、入院患者が安全に入院生活を送れるように取り組みを継続します。